

2024年10月31日 社長会見要旨

**【会見要旨】**

本日は、「2024年度中間決算」、「泊発電所の審査状況」、「ヒートポンプに関するキャンペーン」についてお話しします。

**【2024年度中間決算】**

はじめに、「2024年度中間決算」について、お手元の資料1に沿ってご説明します。

2ページの上段「経営成績」の表をご覧ください。売上高につきましては、燃料価格の低下に伴う燃料費等調整額の減少などにより、前年同期に比べ418億円減少の4,167億円となりました。経常利益につきましては、燃料費等調整制度の期ずれ影響が前年同期の差益から差損に転じたことによる収支の悪化などにより、前年同期に比べ195億円減少の507億円となりました。2019年度中間期以来、5年ぶりの減収減益となります。なお、期ずれ影響のイメージにつきましては、17ページにまとめておりますので、後ほどご覧ください。また、中間純利益につきましては、経常利益の減少はありましたが、核燃料売却益を特別利益に計上したことなどにより、前年同期に比べ3億円減少の506億円となりました。

続いて2ページ下段「財政状態」の表をご覧ください。自己資本比率は前年度末に比べ、2.3ポイント改善し、17.2%となりました。

以上、2024年度中間決算の概要をご説明しました。

続けて、2024年度の連結業績予想についてご説明いたします。4ページをご覧ください。

2024年度通期の連結業績につきましては、至近の動向を踏まえ、7月31日に公表した連結業績予想を修正いたしました。売上高につきましては、前回公表時に比べ、燃料価格の低下に伴い、燃料費等調整額が減少する見込みであることなどにより、7月公表値に比べ40億円減少の9,020億円程度となる見通しです。経常利益につきましては、水力発電量の減少による燃料費の増加はありますが、グループ会社利益の増加が見込まれることなどにより、7月公表値と同程度の370億円程度となる見通しです。当期純利益につきましては、経常利益に加え、核燃料売却益の特別利益への計上を反映し、7月公表値と同程度の430億円程度となる見通しです。

4ページの表の中ほどをご覧ください。2024年度通期の小売・他社販売電力量につきましては、ともに概ね7月公表時の想定どおりに推移していることから、7月公表値と同程度の332億kWh程度となる見通しです。

7ページ以降に決算ならびに業績予想に関する経常利益の前年度からの変動要因などを、参考資料としてまとめておりますので、後ほどご覧ください。

6 ページをご覧ください。中間配当および期末配当予想についてご説明します。

今年度の中間配当につきましては、本日開催の取締役会において、前回公表した配当予想のとおり、普通株式は1株当たり10円、B種優先株式は定款の定めに従い実施することを決定しました。また、期末配当予想については、前回の公表内容から変更はなく、普通株式は1株当たり10円、B種優先株式は定款の定めに従い実施することを予定しています。

2024年度中間決算の概要は以上です。

### 【泊発電所の審査状況】

次に、お手元に資料はございませんが、泊発電所の審査状況について申し上げます。

当社は、10月4日の審査会合において、火山のモニタリング等についてご説明し、概ね妥当な検討がなされているとの評価をいただきました。これによって、自然ハザード側の審査のうち、火山影響評価に係る審査全体についてご理解いただけたものと考えています。10月24日、25日には、原子力規制委員会による現地調査が行われました。新たに委員に就任された山岡委員をはじめ、審査チームの皆さまに、審査会合でこれまで当社が説明してきた内容について実際に現地をご確認いただきました。

設置変更許可に係る審査は着実に進んでおり、大詰めを迎えているものと考えております。新たな知見を反映した地震・津波側の審査や、その結果を踏まえたプラント側審査における施設設計方針の確認など、残る審査項目は限られてきており、引き続き、当社からの一通りの説明を12月下旬までに終わられるよう、真摯に対応してまいります。

### 【ヒートポンプに関するキャンペーン】

最後に、これから本格的な冬を迎える前に、現在実施中のヒートポンプ機器に関するキャンペーンをご紹介します。お手元のチラシをご覧ください。

空気中の熱を電気の力で取り込むヒートポンプシステムは、省エネ性や環境性に優れています。近年では、マイナス25℃の外気温でも運転できる機器が開発され、寒冷地である北海道においても、ヒートポンプによる給湯や暖房が普及してきています。当社では、電気温水器や蓄熱暖房器など従来型の電化機器から、ヒートポンプ機器へお取り替えいただく「エコ替え」をお勧めしており、現在、工事費をサポートする「エコ替えキャンペーン」を実施中です。

裏面をご覧ください。ヒートポンプ機器のうち、給湯機である「エコキュート」を導入する場合、製品によっては国の補助が受けられます。お客さまの電気代の削減にもつながる「エコ替え」を、この機会に是非ご検討ください。

このほか、冬の省エネキャンペーンとして、「エネモールチャレンジ 2024」も実施中です。当社の Web サービス「エネモール」では、電気のご利用状況をいつでも簡単にご確認いただけますので、日ごろの省エネにご活用ください。詳細はお手元にお配りした参考資料に記載しておりますので、後ほどご覧ください。

私からは以上です。